

令和 7 年河川功労者の決定 及び 表彰について

令和 7 年河川功労者が決定いたしました。

本表彰は、令和 7 年 6 月 4 日（水）に開催される公益社団法人日本河川協会 定時社員総会の中で執り行います。

なお、当日は報道関係者向けに取材席（報道者席）をご用意しております。

取材を希望される場合は、事前に当協会までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

<表彰式のご案内>

- **日 時**：令和 7 年 6 月 4 日（水）16 時 00 分より
（※「定時社員総会」は同日 13 時 30 分より開催）
- **会 場**：砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4
TEL：03-3261-8386

記

1. 令和 7 年河川功労者表彰について ----- 資料－ 1
2. 令和 7 年河川功労者表彰者名簿 ----- 資料－ 2

協会ホームページ内「令和 7 年河川功労者の決定」ページ

https://www.japanriver.or.jp/information/2025_kourousya.htm

【問合せ先】

公益社団法人 日本河川協会
河川功労者表彰事務局
〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-6-5
麹町 E.C.K ビル 3F
担当：志賀、小島
TEL：03-3238-9771
E-mail：kourousya@japanriver.or.jp

令和 7 年河川功労者表彰について

1. 公益社団法人 日本河川協会では、昭和 24 年から河川に対する国民の理解を深めるため、当協会の河川功労者表彰規程に定める下記事項に該当する個人及び団体について、毎年、定時社員総会において河川功労者表彰を行っております。
2. 表彰者は、都道府県、国土交通省地方整備局等及び河川関係団体等からご推薦いただき、当協会の河川功労者表彰審査委員会で審査し、理事会において決定しています。
3. 令和 7 年の河川功労者は、資料－2 のとおりです。
表彰者の総数は、個人 44、団体 36、合計 80 の個人及び団体となっております。
4. これにより、令和 7 年までの表彰者は、4,518 の個人及び団体となります。

記

- 第 1 号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合
- 第 2 号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合
- 第 3 号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合
- 第 4 号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合
- 第 5 号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
- 第 6 号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合
- 第 7 号 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化に功績があった場合
- 第 8 号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合

令和 7 年河川功労者表彰者名簿

公益社団法人 日本河川協会

令和 7 年河川功労者表彰総括表

事	項	個 人	団 体	計
第 1 号	歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合			0
第 2 号	河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合	19	5	24
第 3 号	水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合	6		6
第 4 号	河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合	1	29	30
第 5 号	河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合	16		16
第 6 号	河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合	1	2	3
第 7 号	河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化に功績があった場合			0
第 8 号	本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合	1		1
合	計	44	36	80

令和7年河川功労者表彰者名簿

第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合

(個人19)

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
そと さき ひで と 外 崎 秀 人	前 今 金 町 長	平成15年の今金町長就任以降、長年にわたり後志利別川の清流保護に尽力し、また令和2年に新たに設立された「後志利別川環境創造保全振興促進期成会」の初代会長として、同川の治水対策の推進や河川環境保全などに貢献された。	北海道瀬棚郡今金町
あ べ やす お 阿 部 安 雄	—	昭和58年から北上川水系磐井川八郎沢排水樋管の水門等水位観測員として、長年にわたり施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	岩手県一関市
いわ おち くに お 岩 渕 邦 雄	—	昭和58年から北上川水系北上川中江川排水樋門の水門等水位観測員として、長年にわたり施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	岩手県一関市
や おき しん いち 矢 吹 眞 一	農 業	昭和59年から長年にわたり、阿武隈川水系釈迦堂川須賀川樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	福島県須賀川市
おお や かつ じ 大 矢 捷 治	—	平成11年から長年にわたり、信濃川水系魚野川の西又川水門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	新潟県魚沼市
わた なべ みのる 渡 辺 稔	—	平成11年から長年にわたり、信濃川水系魚野川の江添川樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	新潟県魚沼市
こ ざと はち ろう 小 里 八 郎	自 営 業	平成5年から長年にわたり、金草川排水機場の操作員として従事し、施設の点検整備を定期的に行い、かつ非常時には昼夜を問わず迅速な操作監視対応を行うなど、災害の軽減に貢献された。	岐阜県養老郡養老町
なん ぶ かず よし 南 部 和 義	農 業	長年にわたり、木曽川水系揖斐川川口水門・住吉水門・三之丸水門の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時・高潮時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	三重県桑名市
くら ぐち たく や 倉 口 卓 也	製 造 業	平成元年から長年にわたり、淀川水系木津川渦之樋樋門の水門等水位観測員として強い責任感をもって施設の点検・操作に従事し、過去幾多の洪水において正確かつ迅速な操作を行い、災害の軽減に貢献された。	京都府木津川市
ひら おか けい じ 平 岡 啓 司	—	平成元年から長年にわたり、淀川水系木津川赤田川水門の水門等水位観測員として強い責任感をもって施設の点検・操作に従事し、過去幾多の洪水において正確かつ迅速な操作を行い、災害の軽減に貢献された。	京都府木津川市
はし もと かつ ゆき 橋 本 勝 之	皮 革 業	昭和63年から長年にわたり、揖保川水系林田川松原排水樋門の水門等水位観測員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行い、災害の軽減に貢献された。	兵庫県たつの市
ふく い くに お 福 井 邦 夫	農 業	平成元年から長年にわたり、円山川水系奈佐川福田第二樋門の水門等水位観測員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず迅速且つ的確な操作を行い、災害の軽減に貢献された。	兵庫県豊岡市
たか はし かず ひろ 高 橋 和 博	建 設 業	昭和52年から仁淀川水系仁淀川鎌田排水樋門の水門等水位観測員として、長年にわたり施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	高知県吾川郡いの町
もり さわ ひろ ひこ 森 澤 浩 彦	農 業	平成5年から仁淀川水系仁淀川奥田川排水樋門の水門等水位観測員として、長年にわたり施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	高知県吾川郡いの町
なか ひら まさ ひろ 中 平 正 宏	四 万 十 市 長	平成25年に四万十市長に就任以降、四万十川改修期成同盟会会長等として、地域住民の安全で安心した暮らしを守るため、横瀬川ダム建設を始めとする治水事業の推進に尽力されるとともに、「四万十市水害に強い土地利用条例」を制定するなど、「流域治水」を実践し、次世代に繋がる四万十市の礎の築造に貢献された。	高知県四万十市
きく ち てる お 菊 池 昭 男	農 業	平成20年度から令和4年度までの15年間にわたり操作人を務め、梅雨期や洪水時には危険を伴いながらもその責務を全うされ、地域社会の災害防止や住民の生命・財産の保護に尽力されるとともに、後継者の育成や維持・点検業務にも貢献された。	福岡県久留米
こ とう のぶ たか 後 藤 信 孝	会 社 員	九州20河川の河川整備基本方針及び整備計画の策定や災害関連事業の採択・推進に尽力されるとともに、九州管内の流域連携を推進され、後輩の育成にも積極的に取り組まれるなど、人材育成にも貢献された。	福岡県朝倉郡筑前町
さき た えい じ 崎 田 英 治	農 業	平成5年から長年にわたり、本明川水系半造川長野樋管の操作員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	長崎県諫早市

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
やまぐちくみお 山口久美男	農 業	平成11年から長年にわたり、本明川水系半造川西長田樋管の操作員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	長崎県諫早市

(団体5)

名 称	功 績 等	住 所
いしかりがわ 石狩川流域圏会議	石狩川流域46市町村で構成される石狩川流域圏会議と国、北海道が連携して推進する「石狩川流域連携宣言」に基づき、気候変動による降雨量増加などの大規模水害に対応するため、相互防災支援体制の構築や豪雨対策研修を継続的に実施し、「石狩川流域の安全・安心」の確保に貢献された。	北海道恵庭市
よしだがわ 吉田川流域治水促進同盟会	流域治水の前段となる地域の地形特性や水害リスクの理解を進めるべく、地域主体で勉強会を開催し、流域治水の普及に貢献するとともに、高水敷のヤナギ幼木の除却やゴミ拾いを実施し、河川環境の維持に貢献された。	宮城県黒川郡大和町
みえがわ 三重川を守る会	平成元年に設立以来、三重川の堤防敷きの除草および清掃活動、食廃油の回収、花の植栽等の活動に取り組み、環境保全および河川美化に努め、地域住民に憩いの場を提供するとともに、市民の環境保全意識の醸成に貢献された。	大分県豊後大野市
豊かな水環境創出ゆふいん会議	地域の子どもたちを対象とした環境学習会の実施や、河川に関する調査研究活動、河川清掃、外来種水草の除去活動を継続的に取り組み、大分川の源流である由布院盆地の水環境の保全に貢献された。	大分県由布市湯布院町
りゅうちるネットワーク	流域治水の前段となる地域の地形特性や水害リスクの理解を進めるべく、イベントや出前講座を実施し、流域治水の普及に貢献するとともに、高水敷のヤナギ幼木の除却やゴミ拾いを実施し、河川環境の維持に貢献された。	宮城県大崎市

第3号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合

(個人6)

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
はたのまなぶ 波多野学	会 社 員	29年にわたり水防団員として活動し、水害から地域住民の生命・財産を守るため、被害の防止と軽減に尽力するとともに、地域住民に対して水害の恐ろしさや水防活動の重要性を伝える啓発活動にも貢献された。	岐阜県岐阜市
さはらのりあき 佐原憲昭	会 社 員	平成10年4月に浜松市水防団五島分団に入団以来、水防活動の第一線で活躍し、平成23年4月に分団長に就任後は優れた指導力・行動力で分団の運営を行い、平成28年4からは副分団長として他の模範となるなど、団員の指導育成と組織の強化に貢献された。	静岡県浜松市
ふじたてつお 藤田哲夫	会 社 員	平成13年4月に浜松市水防団河輪分団に入団以来、24年間にわたり水防活動の第一線で活躍し、平成28年4月に分団長に就任以降、令和4年に分団長を退任するまで、分団員や地域住民からの厚い信頼を得るなど、分団活動に貢献された。	静岡県浜松市
きむらつとむ 木村勉	—	多年にわたり、淀川右岸水防事務組合水防団西淀川第12水防区分団長として、水災害防御の第一線で活躍し、蓄積した経験と見識、指導力をもって水防団員の指導育成や組織強化に尽力するとともに、水災害から地域住民の生命と財産を守るために貢献された。	大阪府大阪市
きもとつとむ 木本勉	金 属 加 工 業	淀川左岸水防事務組合水防団分団長として、長年にわたり水災防御の第一線で活躍し、豊かな経験と卓越した指導力により、団員の指導育成や水防組織の充実強化に努めるとともに、地域住民の生命と財産の安全確保に貢献された。	大阪府大阪市
かわだのぶお 川田信夫	会 社 員	平成13年から四国地方防災エキスパート、水防専門家として、重信川並びに肱川水系の関係市町における消防団員等への水防工法の施工技術の指導を行い、水防知識、工法及び技能の伝承に貢献された。	愛媛県松山市

第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合

(個人1)

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
きたみけん 鬼多見賢	—	「猪苗代湖の自然を守る会」を設立し、小学生への環境学習や清掃活動による水質保全、水質調査などを多年にわたり実施し、河川の自然保護・河川愛護活動に貢献された。	福島県耶麻郡猪苗代町

(団体29)

名 称	功 績 等	住 所
きたかみがわ 北上川フィールドライフクラブ	平成4年に設立以来、長年にわたり地域住民と連携し北上川の清掃活動に取り組み、また、河川の魅力を伝える体験活動を継続的に実施するなど、河川環境の保全及び河川愛護活動に貢献された。(平成26年河川協力団体指定)	岩手県花巻市
特定非営利活動法人 きたかみがわ 北上川流域連携交流会	平成7年に発足以来、人材育成事業リバーマスタースクールや河川環境保全に取り組み、平成14年に「アイボート」が開館すると同時に施設の企画・運営にも携わり、北上川や一関遊水地の説明、防災教育に尽力され、地域の発展と安全に貢献された。	岩手県一関市
特定非営利活動法人 きたかみがわ 北上川サポート協会	平成12年5月に設立以来、長年にわたり河川清掃活動「北上川クリーン作戦」を実施するなど河川美化に尽力するとともに、北上川流域交流Eポート大会の運営にも長く携わり、河川愛護精神の醸成にも貢献された。(平成27年河川協力団体指定)	岩手県一関市
ど き がわ 土 器 川 生 物 研 究 会	平成14年から「香の川パートナーシップ」に参加し、土器川での年3回以上の河川清掃をはじめ、多種にわたる積極的な河川愛護活動を行い、河川環境の美化や河川愛護意識の醸成に貢献された。	香川県丸亀市
住 み た く な る ま ち ど き 土 器	平成14年から「香の川パートナーシップ」に参加し、土器川での年3回以上の河川清掃をはじめ、多種にわたる積極的な河川愛護活動を行い、河川環境の美化や河川愛護意識の醸成に貢献された。	香川県丸亀市
いち の かわ 市野川水系の会 イン滑川町	平成20年の設立以来、長年にわたり一級河川市野川において地域住民と連携し、自然環境の保全活動や清掃活動を継続的に実施し、河川環境の保全および河川美化に貢献された。	埼玉県比企郡滑川町
さか がわ はな もも 坂 川 の 花 桃 を 愛 す る 会	春先に近隣住民の憩いの場となる坂川河畔の清掃活動などの河川維持活動や、近隣の小学生や幼稚園児と川と触れ合うイベントを行い、世代を超えた河川愛護精神の涵養に努めるなど、河川環境の保全および河川愛護意識の醸成に貢献された。	千葉県松戸市
まつ が さき 松 ケ 崎 水 と 緑 の 会	平成20年8月の設立以来、長年にわたり千葉県や地元町会の協力を得て大堀川左岸で清掃活動や除草活動を実施し、河川環境の保全および美化に貢献された。	千葉県柏市
て がぬま 美しい手賀沼を愛する市民の連合会	平成7年12月より、千葉県や周辺市町村、市民の協力を得て手賀沼流域で清掃活動や外来種駆除などの活動を実施し、河川環境の保全および維持に対する意識醸成に貢献された。	千葉県我孫子市
なり た N P O 成 田 さ く ら の 里	平成23年に河川アダプト制度の合意を結んで以来、取香川の堤防においての除草・清掃活動に加え、マンジュシャゲ約8万本の植栽・管理を定期的に行うなど、河川環境美化および地域住民の河川愛護意識の向上に貢献された。	千葉県成田市
い こ 憩いのまほろば水辺愛護会	平成13年の設立以来、阿久和川の水辺拠点「憩いのまほろば」で清掃・除草・花木の剪定及びトイレの清掃を実施し、河川環境の美化に寄与されるとともに、トイレ出入口の施錠開錠を含む継続的な活動は、利用しやすい水辺環境の維持や保全に繋がるなど、河川環境の推進にも貢献された。	神奈川県横浜市
いち の き ど あさくさかい 協同組合 一ノ木戸商店街 朝草会	平成5年から30年以上にわたり、ゴミや雑草が目立つ状況であった五十嵐川で除草・清掃活動に取り組みとともに、芝桜の植栽などの河川環境整備にも尽力し、芝桜が咲く美しい清流を作り上げるなど、河川環境美化の推進に貢献された。	新潟県三条市
みな もり もと 南 森 本 町 会	金沢市内の二級河川森下川流域において、長年にわたり堤防等の草刈りや清掃活動に継続的に取り組み、河川環境の保全および河川美化の推進に貢献された。	石川県金沢市
く さ ま がわ 草 間 川 河 川 愛 護 会	昭和47年の設立以来、一級河川草間川および一級河川江部川において、毎年区民全戸が参加して行う河川敷内の清掃や草刈りなどの河川美化・河川愛護活動は、河川周辺の環境整備に大きな成果を上げ、河川環境の美化および河川愛護精神の醸成に貢献された。	長野県中野市
ち くま がわ 千 曲 川 漁 業 協 同 組 合	昭和24年の設立以来、75年という長きにわたり一級河川鮎川(宇原川)において、河川周辺の草刈りやゴミ拾い、河道内の支障木撤去、さらには稚魚放流による生態系の保全など、河川の美化および環境保全に貢献された。	長野県須坂市
なか むら く 中 村 区	平成20年の設立後、令和2年には長年にわたる各常会の活動を一本化し、一級河川東条川および周辺河川の除草・清掃活動に取り組み、地域の環境保全・美化および住民の河川愛護意識の向上に貢献された。	長野県筑北村
たか べ 高部地区まちづくり推進委員会	静岡市清水区高部地区の18自治会から構成される高部地区まちづくり推進委員会は、毎年約1,400人の住民が参加する塩田川等の河川清掃活動を長年にわたり実施し、河川愛護精神の普及および河川美化・環境保全に貢献された。	静岡県静岡市
うりうちょう うりうちょう 瓜内町自治会(瓜内町里親会)	平成17年に瓜内町里親会を結成し、草刈りや清掃活動等の河川美化・保全活動に献身的に取り組み、保全された堤防が住民の憩いの場所として親しまれるなど、他の模範となる活動により、河川愛護精神の醸成および河川美化の推進に貢献された。	静岡県浜松市
い はら 庵 原 地 区 連 合 自 治 会	庵原地区連合自治会は、静岡市清水区庵原地区の12自治会で構成され、長年にわたり庵原川などの清掃活動を行い、毎年約2,200人の住民が参加して河川愛護の精神を広めるとともに、河川の美化や河川愛護精神の普及、環境保全に貢献された。	静岡県静岡市
むしゅうの グ リ ー ン イ ン フ ラ 虫 生 野	地域住民と連携を図り、杣川・柿田川の継続的な河川愛護活動を行うことで、河川環境の保全や河川美化の推進に貢献するとともに、美観が保たれた河川や河川敷で行われる地域行事への積極的な参画を通じて地域の活性化にも貢献された。	滋賀県甲賀市

名 称	功 績 等	住 所
あしたがわ 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク	日常的に河川内の魚道の維持管理や改良、特定外来生物の駆除などの環境保全を継続するとともに、小学校での環境学習や河川清掃を実施するなど、行政と連携しながら積極的に河川愛護活動に取り組み、地域の河川環境の保全に貢献された。	大阪府高槻市
みほら 南あわじ市立三原中学校 理科部	昭和40年中頃以降、50年を超える長きにわたり、二級河川三原川水系成相川および論鶴羽川において、蜚の保護・繁殖活動を行うとともに、地域住民を交えた「鑑蜚会」を開催するなど啓発活動を継続し、河川環境学習や河川環境の保全に貢献された。	兵庫県南あわじ市
やすぎ やまさ 安来市立山佐小学校	平成18年度から中海流入河川調査に参加し、環境学習に取り組むとともに、地域住民へのアンケートや学校のある上流域から下流の中海までの河川環境をまとめ、学習発表で報告するなど、環境保全意識の醸成に貢献された。	島根県安来市
しょう とく 松徳学院中学校	環境・自然をテーマにした学習に取り組み、公民館等と連携した河川環境整備や、学習発表会で児童や地域住民に向けた川の大切さについての発信など、環境保全意識の醸成に貢献された。	島根県松江市
しん いし て 新石手町内会	平成24年から愛りバー・サポーター制度に登録し、石手川沿いの新石手公園周辺において、年3回程度の河川美化清掃活動を継続的に行之、快適で美しい景観・河川環境の維持に貢献された。	愛媛県松山市
とり の き こみち 鳥ノ木菜の花小道グループ	平成24年から愛りバー・サポーター制度に登録し、鳥ノ木団地周辺の大谷川および八反地川において、年4回の河川美化清掃活動を継続的に行之、快適で美しい景観・河川環境の維持に貢献された。	愛媛県伊予市
みねしも 三根下地区河川・道路愛護会	対馬市内の2級河川である三根川において、地域住民と共に平成22年度から毎年草刈りなどの清掃活動を行い、河川愛護団体として河川環境の保全や美化の推進に貢献された。	長崎県対馬市峰町三根
特定非営利活動法人 アザメの会	アザメの瀬自然再生事業により再生された氾濫原(湿地)を活動拠点とし、人と人との絆を深めながら、松浦川流域の自然を次世代へ継承する自然環境教室を開催するとともに、氾濫原としての遊水区域であることを学ぶ防災学習を継続して実施し、河川環境保全や防災教育に貢献された。	佐賀県唐津市
はな あい かい えのきづ花を愛する会	平成27年の設立以来、熊本市南区富合町を流れる浜戸川で良好な地域環境を目指して、浜戸川左岸約1kmで美化活動や植栽を年3回実施し、3月には菜の花が咲き誇る「菜の花ロード」が地域住民に愛されるなど、地域の河川環境保全及び美化に貢献された。	熊本県熊本市

第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合

(個人16)

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
うみ た てる ゆき 海田輝之	岩手大学 名誉教授	水環境工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、北上川水系河川整備学識者懇談会座長などの数多くの委員会で座長を歴任され、河川の環境整備と保全を含む社会基盤整備に功績を残された。	岩手県盛岡市
まつ とみ ひで お 松富英夫	秋田大学名誉教授 中央大学研究開発機構機構教授	河川工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、河川整備学識者懇談会、河川水辺の国勢調査アドバイザー、成瀬ダムモニタリング委員会等の各種委員を務められ、河川・ダム整備の推進に貢献された。	秋田県秋田市
いし かわ ただ はる 石川忠晴	東京工業大学 名誉教授	平成元年からの長きにわたり、東北地方を中心として河川、湖沼、ダム湖での現地観測を継続的に実施して環境水理学に関する多数の著述を発表するとともに、各種委員会の主査・委員として水環境の保全および河川整備事業等の推進に貢献された。	神奈川県藤沢市
なか むら ゆき ひろ 中村幸弘	元上越市立水族博物館 館長	大河津分水路環境調査検討委員会委員等を務め、大河津分水路改修事業実施にあたり、魚類に関する専門的知見をもとに助言を行うなど、「大河津分水路の改修事業環境保全への取組み」のとりまとめに寄与し、河川整備の推進、河川環境の保全に貢献された。	新潟県柏崎市
かみ たに とも ひこ 紙谷智彦	新潟大学 名誉教授	阿賀野川の自然環境保全や河川整備に関する専門的な審議を目的とした複数の検討会等の委員に就任され、豊富な植物生態に関する知見をもとに、具体的な方策提案や効果の評価分析を的確に実施し、良好な河川環境の保全と再生に貢献された。	新潟県新潟市
こ まだ のり とも 駒田格知	名古屋女子大学 名誉教授	魚類の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、徳山ダムモニタリング委員会委員、中部地方ダム等管理フォローアップ委員会委員、河川水辺の国勢調査アドバイザーを務め、ダムの適正管理や事業推進に貢献された。	岐阜県瑞穂市
つち や さとし 土屋智	静岡大学 名誉教授	大井川水系流域委員会の委員長、安倍川水系流域委員会の副委員長、安倍川総合土砂管理計画検討委員会の委員等を務め、河川整備計画や総合土砂管理計画の治水対策や土砂管理対策の検討に貢献された。	静岡県静岡市
かん だ たけし 神田猛	宮崎大学 名誉教授	魚類の専門家として顕著な研究成果を上げられ、大淀川・小丸川学識者懇談会、五ヶ瀬川学識者懇談会、河川水辺の国勢調査のアドバイザーなど、多数の委員会で委員を歴任され、大淀川・小丸川・五ヶ瀬川をはじめとする九州の河川整備の推進に貢献された。	三重県津市

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
いし かわ よし はる 石 川 芳 治	東京農工大学名誉教授 砂防図書館長	土砂・流木災害、火山災害、砂防施設、流域保全において顕著な研究成果を上げ、災害対策に関わる国の委員会委員などを務めるとともに、砂防事業の推進に寄与され、さらに数多くの有能な人材を育成し、産・官・学へ供給するなど、多方面にわたって貢献された。	京都府京都市
まつ い まさ ふみ 松 井 正 文	京 都 大 学 校 名 誉 教 授	両生類における分類学的研究の第一人者であり、近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会や木津川上流環境研究会等の委員を歴任し、オオサンショウウオなど両生類への影響に関する助言を通じて河川環境の保全に貢献された。	京都府京都市伏見区
とき だ けん いち 常 田 賢 一	大 阪 大 学 校 名 誉 教 授	地盤工学・防災工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、熊野川、紀の川、猪名川、大和川の堤防調査委員会委員長などを歴任し、治水事業の推進、流域の安全・安心の確保に貢献された。	茨城県つくば市
まつ み よし はる 裕 見 吉 晴	鳥取大学名誉教授・ 特 任 教 授	海岸工学、防災計画の専門家として、国土交通省、鳥取県の各種の検討会や「斐伊川水系河川整備計画」の策定・点検に至るまで、専門的な視点から助言を行い、河川の整備の推進等に貢献された。	鳥取県鳥取市
ひら い しょう ご 平 井 松 午	徳 島 大 学 校 名 誉 教 授	歴史地理学の専門家として、「とくしま川づくり委員会」の委員を務め、県管理河川の河川整備計画の策定に尽力するとともに、流域水管理計画の策定に助言し、水教育の発展に寄与するなど、河川行政の推進に貢献された。	徳島市新浜町
まつ い ひろ みつ 松 井 宏 光	松山東雲短期大学 名 誉 教 授	植物の専門家として幅広く活躍され「四国地方ダム等管理フォローアップ委員会」「河川・溪流環境アドバイザー」「重信川流域学識者会議」「肱川流域学識者会議」等に委員として参画、専門的視点から助言を行い河川整備の推進に貢献された。	愛媛県松山市
いし かわ しん ご 石 川 愼 吾	高 知 大 学 校 名 誉 教 授	植物の専門家として、幅広く活躍され「河川水辺の国勢調査スクリーニング・グループ委員会」「物部川、仁淀川、渡川流域学識者会議」「四国地方ダム等管理フォローアップ委員会」等に委員として参画、専門的視点から助言を行い河川整備の推進に貢献された。	高知県吾川郡いの町
ぎょく せん こう いち ろう 玉 泉 幸 一 郎	元 九 州 大 学 校 准 教 授	林学・森林科学の専門家として九州地方ダム等管理フォローアップ委員会委員を務められ、管理ダム環境の改善・保全の推進に貢献された。	福岡県福岡市

第 6 号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合
(個人 1)

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
いし だ ゆう こ 石 田 裕 子	摂南大学理工学部 都市環境工学科教授	学識者としての経験を生かし、学生らと継続的にダム貯水池で水没集落の灯りを浮かべる芸術文化的活動を行い、上流から下流までの流域間交流に尽力されるとともに、水源地域の振興やダム管理者および水源地域関係者との良好な関係構築にも寄与されるなど、地域の発展に貢献された。	大阪府豊中市

(団体 2)

名 称	功 績 等	住 所
あせ み かわ 汗 見 川 を 美 し く す る 会	昭和47年に河川の保全や地域活性化を目的に流域の6集落の住民により設立された「汗見川を美しくする会」は、地域特有の魅力を活かし、川の有意性などを伝えるイベントを通じて域外との交流を深めるなど、地域の活性化に貢献された。	高知県長岡郡本山町
せん だい 川 内 商 工 会 議 所	1959年から川内川を活用した花火大会を開催し、長年にわたり川内川周辺地域の活性化を図るとともに、イベント開催後には河川を含む清掃活動を行うなど、地域活性化および河川環境保全に貢献された。	鹿児島県薩摩川内市

第 8 号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合
(個人 1)

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
しち のへ かつ ひこ 七 戸 克 彦	九州大学名誉教授 名古屋学院大学法学部教授	平成14年5月に日本河川協会の理事に就任されて以来、令和6年6月に退任されるまでの22年間にわたり、協会の運営と発展に貢献された。	愛知県名古屋市中

令和 7 年 4 月時点